

2023年7月下旬配本予定

白い着物の子どもたち

伊藤悠子 著

A5変形・上製／96頁／定価2,200円+税

ISBN978-4-908568-37-4 C0092 ¥2200E

美しいと思った日々が

絵画のような遠くを散っている

思い出というものではない、遠い風景の中の懐かしい微笑みやさびしさ。少女が乗るブランコのこすれる正確な音によって伝えられる生きる生活。静澄な叙情によって綴られた25篇の詩。

伊藤悠子（いとう・ゆうこ）

1947年、東京生まれ。

第二詩集『ろうそく町』（思潮社、2011年）で第44回横浜詩人会賞、

第三詩集『まだ空はじゅうぶん明るいのに』（思潮社、2016年）で第34

回現代詩花椿賞を受賞。

詩集に『道を 小道を』（ふらんす堂、2007年）、『傘の眠り』（思潮社、2019年）、

エッセイ集に『風もかなひぬ』（思潮社、2016年）がある。

目次

ひとが通る／白い着物の子どもたち／奄美和光園／線路のサルスベリ／野風山風／死が生を介抱しながらおとずれるということはあるか／習性として／海面／一生のこととして／絵のなか／前方／银杏／声／毎日／友だち／川ふたつ／みえつつもとな／祖母山／ざぶんと／青紫蘇と枝豆／お手伝い／月人／草深百合／影よ／ベンチのチューリップ

白い着物の子どもたち
伊藤悠子

女の子は小学校の七夕の短冊に
にこにこ笑っている女の子を描いて
横に大きくわたしがやさしくなるようにと書いていた
一年生だった
枇杷色の服ならオーバーコートがそうだった

書肆 子午線

▶ご注文はツバメ出版流通まで

FAX 03-3721-1922

TEL 03-6715-6121 E-mail info@tsubamebook.com http://tsubamebook.com

貴店名（番線印）

書肆子午線 新刊

info@shoshi-shigosen.co.jp

返品条件注文扱い 返品了解 ツバメ出版流通：川人

ご注文数

白い着物の子どもたち

ISBN978-4-908568-37-4 C0092

A5変形・上製／96頁／定価=本体2,200円+税

ご担当

様

冊